
HIF-PH 阻害薬 enarodustat から roxadustat への切り替えによる臨床評価

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック 大村腎クリニック

○堀 幸一郎 林田征俊 矢野利幸 高木伴幸 前川明洋 澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司 船越 哲

【背景】

HIF-PH 阻害薬は、HIF 経路を活性化し EPO 産生と鉄の動員を増加させる経口腎性貧血治療薬である。今回我々は、HIF-PH 阻害薬である enarodustat(Ena)と roxadustat (Rox)の特性を比較した。

【目的】

Ena から Rox へ切り替えを行い、貧血改善効果等を縦断的に検討する。

【対象・方法】

当院の維持血液透析患者で、Enaを内服中の11名を対象とし、HIF-PH阻害薬EnaからRoxへ切り替えた。Ena内服患者で同意が得られたT-SAT \geq 20%の症例に対し、内服開始から4週間は用量を一定とし、以降はHb値10.0~12.0g/dlを目標に調整を行い、貧血改善効果と鉄動態を16週間観察した。

【結果】

Roxでは内服開始後すぐに上昇が認められ、4週目までHb値は上昇する傾向にあった。内服量の調整によりHb値は安定した。

【考察】

RoxはEnaと比較して鉄代謝の顕著な変動とHb値の上昇がみられ、各剤の特色が示唆された。